

3月23日(土)及び24日(日), 国際女性会議WAW!(World Assembly for Women)を東京にて開催。5回目の開催となる今回はW20との同時開催により, 「WAW! for Diversity」をテーマに日本及び国際社会が抱える今日的課題について, 包括的かつ多角的に議論。



(写真: 内閣広報室提供)

- 持続可能な開発目標(SDGs)に謳われた「誰一人取り残さない」持続可能で包摂性と多様性のある社会の実現に向け, 男性や若者を含む, 多様な背景を持つ参加者が国内外の課題について, 女性の視点も踏まえつつ議論。2日間合わせて約3千人が参加。
【参考】
1日目: 基調講演, 特別挨拶, パネルディスカッション及び分科会, 2日目: 分科会, 特別ゲストインタビュー, パネルディスカッション及び閉会式を実施。
- 安倍総理は1日目の開会挨拶を行った。また, 片山さつき内閣府特命担当大臣は, 1日目のWAW! パネル・ディスカッション「地方活性化と雇用創出, そのためのリーダーシップ」に参加。阿部外務副大臣は, 2日目の外相によるパネル・ディスカッションに参加。マララ・ユスフザイ マララ財団共同創設者(ノーベル平和賞受賞者), バチエレ国連人権高等弁務官, ガブリエラ・ミケティ・アルゼンチン共和国副大統領のほか, 7か国(パナマ, ドミニカ国, ホンジュラス, ブルガリア, クロアチア, グアテマラ, オーストリア)の外相が参加し, 活発な議論が行われた。
- 1日目昼, 山田外務大臣政務官が基調講演者, パネル登壇者等約1, 000名を招待し, レセプションを主催。白鳩太鼓の演奏, 空手演舞, 農業女子, 水産女子等のブース展示等が行われた。
- 2日間に亘る議論の結果として提案された提言を総括文書として発出。同文書は国連文書として登録予定。

パネル・ディスカッションのテーマ: ①技術革新と変容する社会における人材育成, ②地方活性化と雇用創出, そのためのリーダーシップ, ③ジェンダーギャップの解消を通じた新しい成長のカタチ: 女性のエンパワーメントを実現するガバナンスとは, ④労働におけるジェンダーギャップを解消する: ハッピーなワークとライフの実現へ

WAW! 分科会のテーマ: ①多様性を育てるメディアとコンテンツ, ②女性の参画と紛争予防・平和構築・復興, ③多様性を成長に: 企業経営や職場環境, ④家族の未来: 頼る・活かす・分かち合う

W20! 分科会・特別セッションのテーマ: ①女性起業家が創る新しい市場価値, ②ジェンダー投資: 世界の新潮流, ③デジタル時代のジェンダー平等, ④患者や介護者としての女性の就業: 健康格差の是正による男女平等と労働参加の向上

2日間に亘る議論を踏まえ、誰一人取り残さない多様な社会の実現に向け、WAW!参加者1人ひとりができることを実践するとともに、日本政府は政策の参考としていくことを決意。

◆ 技術革新と変容する社会における人材育成

- ・「知と知を融合」、「社会と知の統合」を図ることのできる人材の育成が必要。
- ・新たな技術に誰もが容易にアクセスできる環境整備が必要。
- ・全ての女子に教育の機会を与え、誰もが取り残されることなく、自らの可能性を広げられる社会としていくべき。
- ・固定的な性別役割についての偏見をなくし、男女間における機会の格差の平等を追求すべき。

◆ 地方活性化と雇用創出、そのためのリーダーシップ

- ・地方活性化の取組みに、意思決定の場における女性の参画を推進し、家庭・地域・職場でのジェンダー・ギャップを解消する。
- ・地方活性化に関連する政策・施策にジェンダー平等と女性のエンパワーメントの視点を盛り込む。
- ・新たなテクノロジーを活用してあらゆる関係者（行政、企業、地域など）の力を結集させ、先進的な取組み事例を増やしていく。

◆ 多様性を育てるメディアとコンテンツ

- ・メディアやコンテンツに関わる企業・従事者における、ジェンダーや多様性に対するリテラシー（知識・活用能力）の早急な向上を図る。
- ・世代間におけるジェンダー平等認識の大きなギャップの存在を再認識し、次世代を担う者たちへのメディアを通じた影響を検証する。
- ・官民が一体となり、多様性を育てるコンテンツやメディア発信機会を創出する。

◆ 女性の参画と紛争予防・平和構築・復興

- ・全てのレベルにおける女性の意味ある参画を推進し、その声を和平合意や国造りに反映させる。
- ・紛争下における性的暴力の加害者に対する処罰の追求。被害者に対する適切な補償と支援。
- ・平和維持のための女性の参画の重要性を認識し、政府、市民社会、その他政策決定に携わる者の協力・連携を進める。

◆ 多様性を成長に：企業経営や職場環境

- ・企業経営者は、多様性がビジネスにとって優先度が高いものであると認識し、働き方改革に取り組むことが重要。
- ・また、多様性は、投資家にとっても重要な要素であり、多様性を活かすための適切なマネジメントが必要。
- ・セクシャルハラスメント、パワーハラスメントが、加害者の地位・能力如何にかかわらず、許されないことを徹底する。

◆ 家族の未来：頼る・活かす・分かち合う

- ・官民が連携して同性婚や事実婚等、多様な家族を可視化するとともに、国はそうした家族の多様性の保護を検討する。
- ・女性が家庭内労働を行うべきとする社会的規範を変えるための官民を挙げた積極的な施策を行う。
- ・ひとり親世帯（特に、母子世帯）の貧困削減のため、官民で積極的な施策を行う。